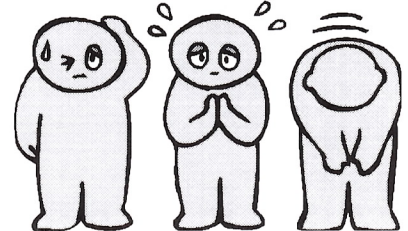


人からちょっとした気遣いを受けたとき、皆さんは「すみません」「ごめん」と言いますか？それとも「ありがとう」と言いますか？

昨日、ずいぶん前に買った『日経ビジネス [アソシエ]』という雑誌を読んでいました。そこに、人から信頼を獲得するための基本習慣というのが紹介されていたのですが、その一つに「I'm sorry」ではなく、「Thank you」を心掛けた方がよい、ということが載っていました。「ありがとう」は、相手が give してくれたことを認め、文字通り、ありがたく受け取るという意味です。そして、そこには「次は自分が何かをお返しできる」という自信が表れ、「あなたと継続的なつながりを求めている」という意志表示にもなるそうです。それに対して、「すみません」「ごめん」という言葉からは「あなたにお返しできるものではありません」といった、自信のなさが透けて見えるそうです。

これはビジネス関係の話ではありますが、自分たちにもあてはまると思います。皆さんはどうですか？友人に何かをしてもらったとき、例えば配布物を配るのを手伝ってもらったときや勉強を教えてもらったとき、教室の入り口で道を譲ってもらったときなどにどう言っていますか？「いつもごめんね。」と言うか、「いつもありがとう。」と言うかによって、確かに受けての印象は異なるような気がします。私は、これまでの生活を振り返ると、「すみません」「ごめん」の方が多かったような気がします。そのときは「申し訳ない」という気持ちです。「自分は何もできていないのに・・・」という思いがあります。この雑誌には、ハーバードの学生は頻繁に「ありがとう」を口にすると書かれていました。自分にも何かできる、という自信の表れなのでしょうかね。



自信があるかどうか、ということ以上に、普段から「ありがとう」という言葉を使うように心掛けてみるのはどうでしょうか。22Hでも、毎日終学活のときに「今日のよいこと」を発表してくれています。最近はその数も増えてきている気がして、嬉しく思っています。昨日の学年集会で、廊下が雨でぬれているのを見て、多くの人が拭くのを手伝ってくれた、という話が紹介されました。心温まる話ですね。このようなことに限らず、日々の生活にはたくさんの「ありがとう」があります。しかし、感謝すべきことでも「ありがとう」と言わなければ、何事もなかったかのように過ぎ去ってしまいます。「ごめん」「すみません」ではなく、「ありがとう」を使うという意識ももってほしいと思いますが、日常にある「ありがとう」を見逃さないように意識して過ごしてください。いつも思うのですが、たった一言の「ありがとう」という言葉のもつ力は本当に大きいです。言われた人も言った人も幸せな気持ちにするとっても素敵な言葉ですね。もっともっと「ありがとう」が飛び交う学級を全員で築いていきたいですね。

